

平成29年(2017年)3月期  
第2四半期決算報告  
(連結ベース)

2016年11月16日

東芝機械株式会社

## 東芝機械

（成形機、工作機械、その他）

## 国内製造販売会社 2社

（工作機械、その他） 不二精機製造所  
（その他） 東栄電機

## 国内販売・サービス会社 他 3社

（成形機、その他） 東芝機械エンジニアリング  
（その他） 芝浦SEMTECK  
（その他） 芝浦産業

赤い枠内は連結各社

（持分法適用会社） 1社

ニューフレアテクノロジー : 15.1%

（非連結子会社） 海外販売会社 9社

## 海外製造会社 3社

（成形機）

TOSHIBA MACHINE (SHANGHAI) CO., LTD.

TOSHIBA MACHINE MANUFACTURING  
(THAILAND) CO., LTD.

TOSHIBA MACHINE (CHENNAI) PRIVATE  
LIMITED

## 海外販売・サービス会社 6社

（成形機、工作機械、その他）

SHANGHAI TOSHIBA MACHINE CO., LTD.

TOSHIBA MACHINE COMPANY, AMERICA

（成形機、工作機械）

TOSHIBA MACHINE (THAILAND) CO., LTD.

TOSHIBA MACHINE SOUTH EAST ASIA  
PTE.LTD.

（成形機）

TOSHIBA MACHINE (SHENZHEN) CO., LTD.

TOSHIBA MACHINE HONG KONG LTD.

# 平成29年(2017年)3月期 第2四半期決算 (連結ベース)

2017年3月期より、海外連結子会社の決算期を統一

2017年3月期 : 2016年4月～2017年3月  
(2016年1月～3月の損益は貸借対照表で調整)

2016年3月期 : 2015年1月～2015年12月

# 業績サマリー

4

(単位:億円)

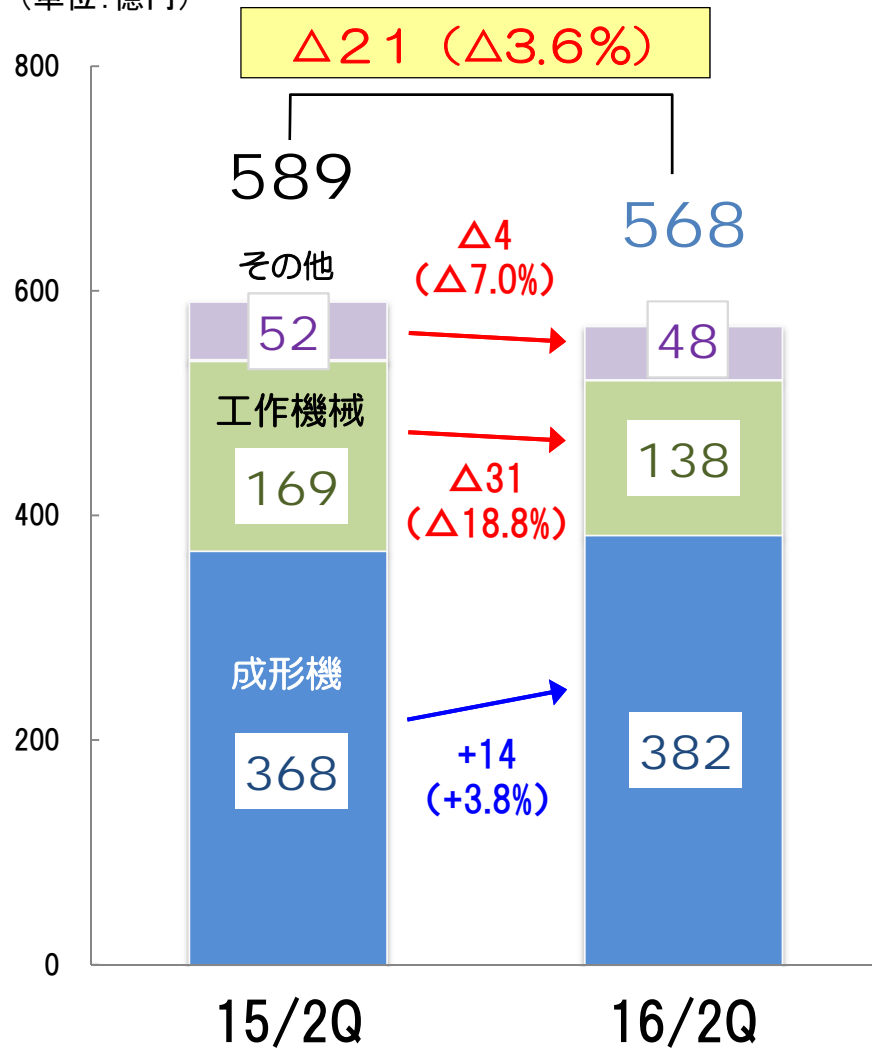
	2016年2Q (H28年2Q)	2015年2Q (H27年2Q)	増 減	2016年2Q予想 (2016/4/28公表値)
売上高	508	585	△ 77	555
営業利益	14 (2.8%)	14 (2.5%)	0 (+0.3%)	18 (3.2%)
経常利益	19 (3.8%)	23 (4.0%)	△ 4 (△0.2%)	16 (2.9%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	14 (2.7%)	33 (5.6%)	△ 19 (△2.9%)	11 (2.0%)
受注高	568	589	△ 21	612
為替レート(USD)	101 円	122 円		108 円

為替影響を除いた場合  
△43

為替影響を除いた場合  
+14

# 受注高(セグメント)

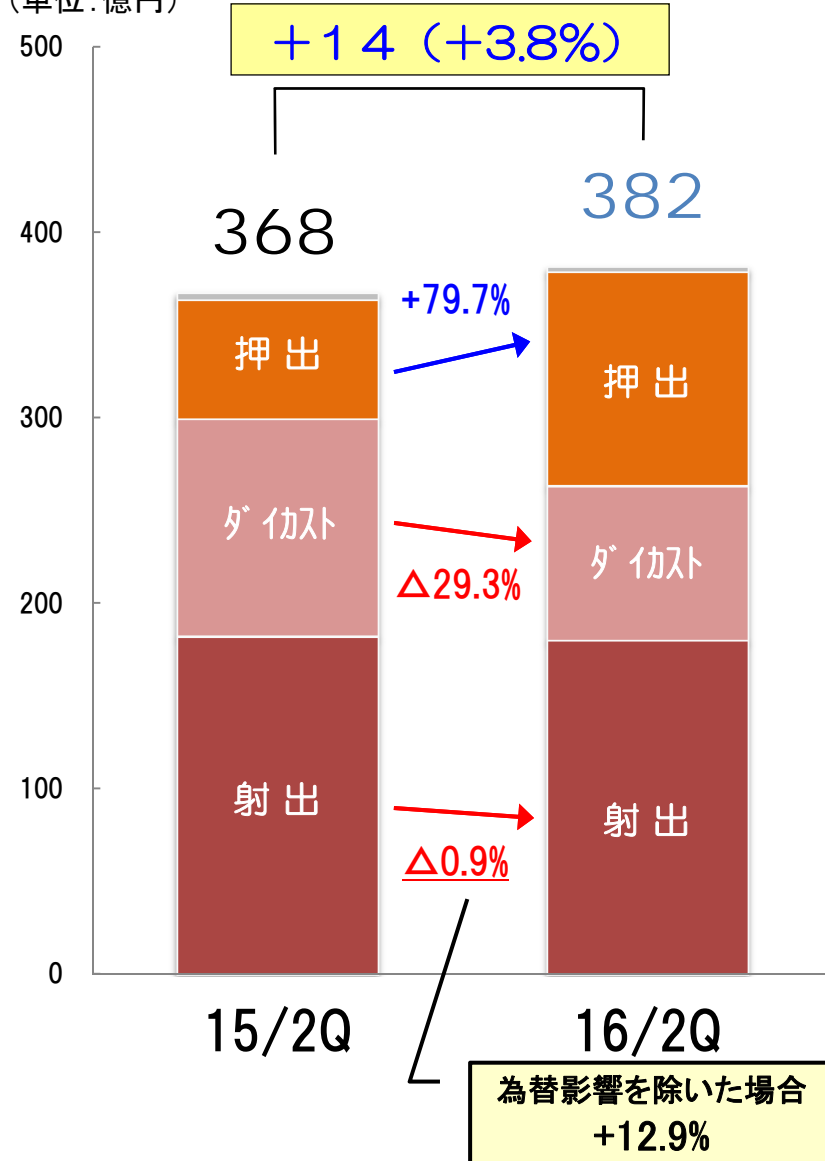
(単位:億円)



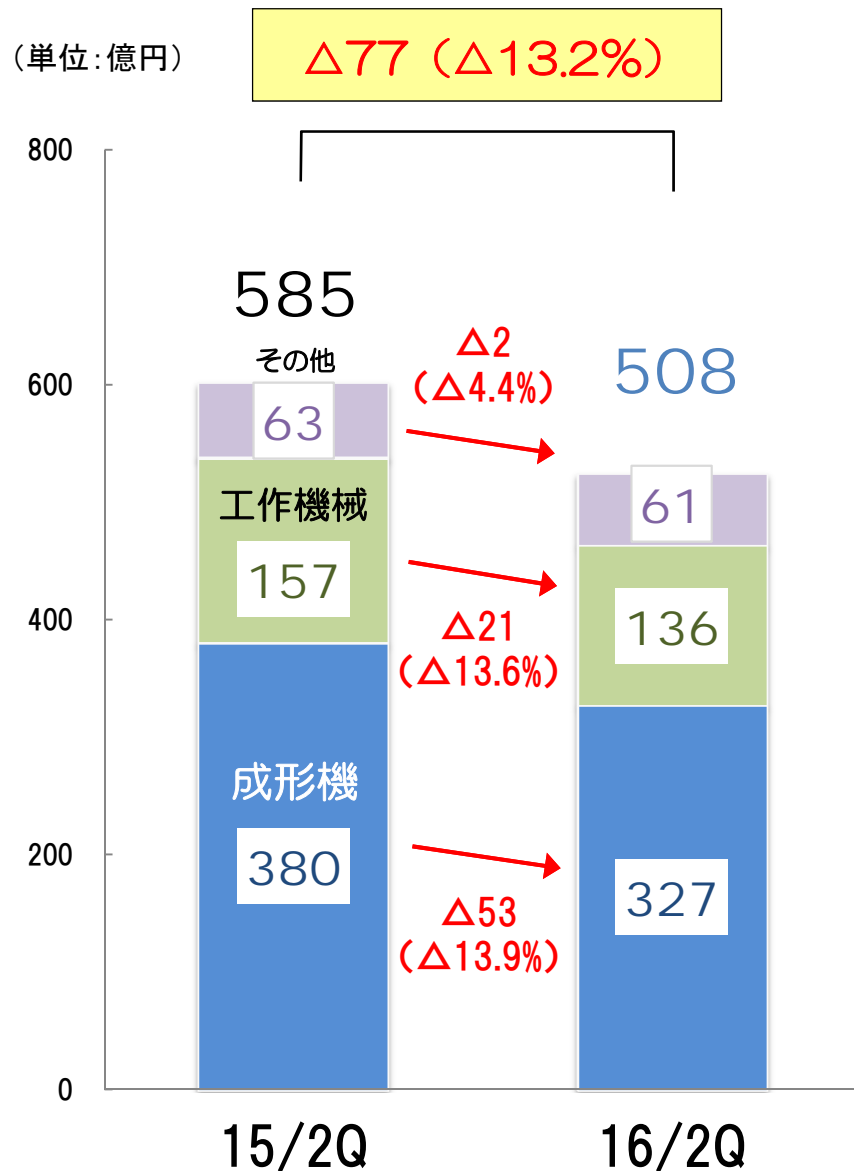
# 受注高(成形機内訳)

5

(単位:億円)

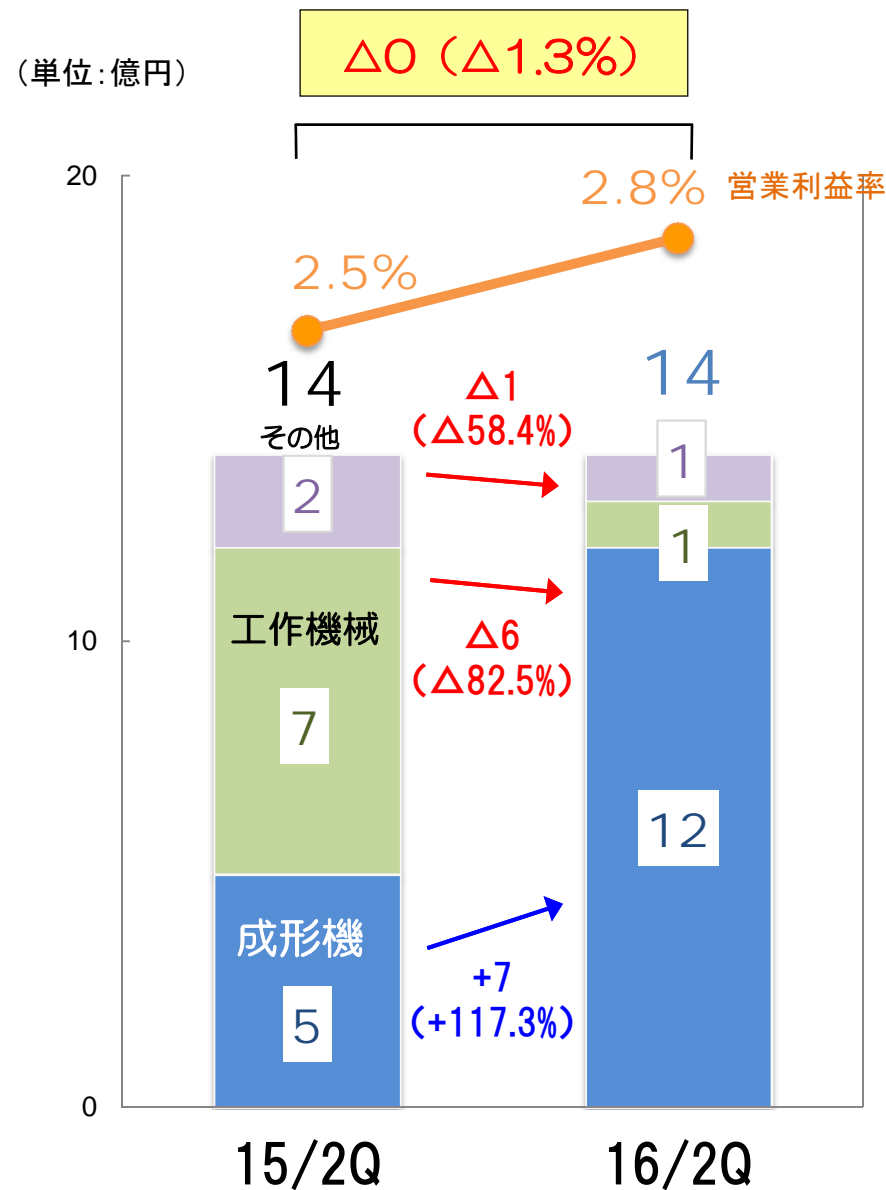


# 売上高(セグメント)



# 営業利益(セグメント)

6



# (成形機)セグメント業績

7

(単位:億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	2016年2Q (H28年2Q)	2015年2Q (H27年2Q)	増減額	増減率
売上高	327	380	△ 53	△ 13.9%
営業利益	12	5	7	117.3%
利益率	3.5%	1.4%		

## 2016年2Q 業績要因分析



### ポジティブ・ファクター

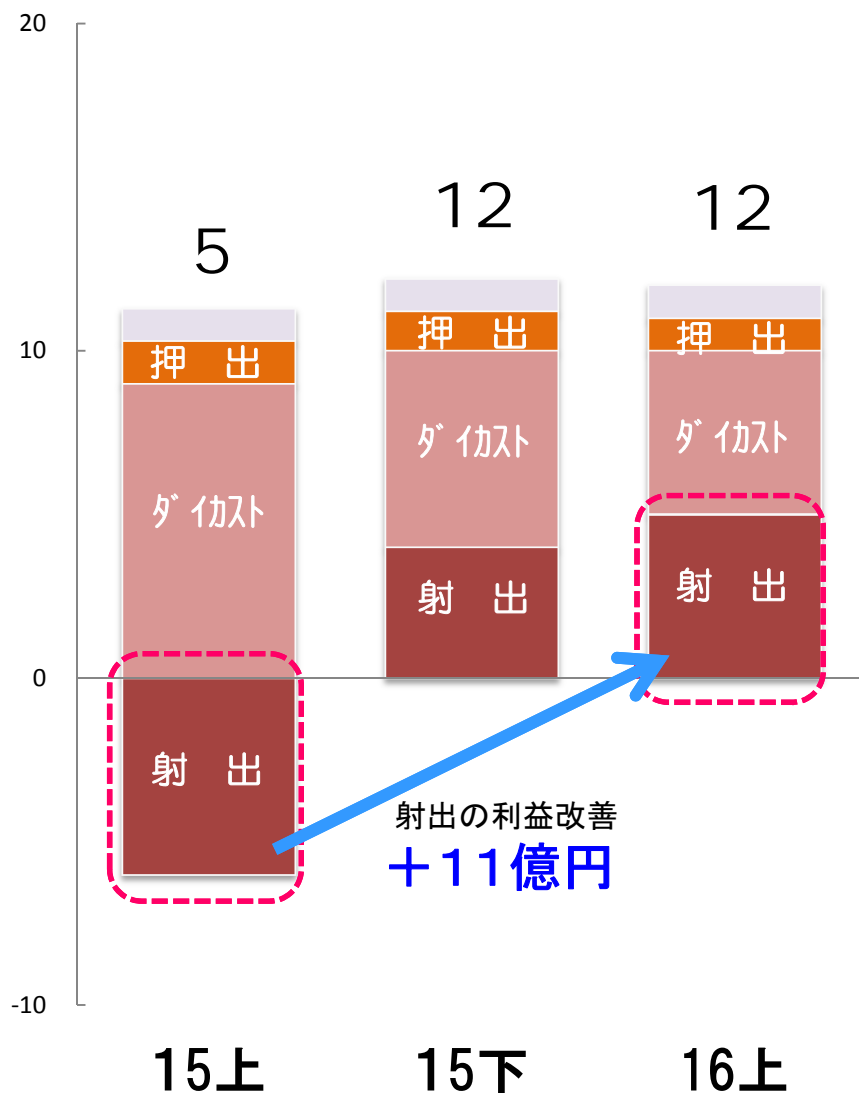
- 射出成形機は、国内・北米向けが堅調
- ダイカストマシンは、北米向け需要が堅調
- 押出成形機は、中国の二次電池向けが需要増
- 原価低減施策により利益率向上



### ネガティブ・ファクター

- 射出成形機は、東アジア、東南アジアで需要低調
- ダイカストマシンは、国内・アジアでの需要停滞
- 押出成形機は、国内の売上規模減少

(単位: 億円)



## 《射出成形機の利益改善 +11億円》

対前年同期比

### ◆ 売上規模の拡大

- 北米市場での規模拡大

### ◆ 利益率の改善

- 主力商品のマイナーチェンジによる原価低減
- 最適地調達による為替リスクの最小化
- 日本工場でのVE・CD推進
- 日本・中国工場での生産整流化
- 中大型機の売上台数増加
- スtockビジネスの拡大

### ◆ 費用の削減

- アジア市況を勘案し、タイ工場の一時的生産規模縮小、中国販売拠点の精査
- 生産性向上の結果として内製化の実現



(単位:億円)

(工作機械、精密加工機など)

	2016年2Q (H28年2Q)	2015年2Q (H27年2Q)	増減額	増減率
売上高	136	157	△ 21	△ 13.6%
営業利益	1	7	△ 6	△ 82.5%
利益率	0.9%	4.3%		

## 2016年2Q 業績要因分析



### ポジティブ・ファクター

- 国内(自動車金型・航空機関連)向けは堅調
- 国内、中国でスマートフォン金型関連堅調



### ネガティブ・ファクター

- 北米の資源関連の停滞継続
- 建機関連の停滞継続
- 中国経済減速による投資抑制

(単位:億円)

(産業用ロボット、電子制御装置など)

	2016年2Q (H28年2Q)	2015年2Q (H27年2Q)	増減額	増減率
売上高	61	63	△ 2	△ 4.4%
営業利益	1	2	△ 1	△ 58.4%
利益率	1.3%	3.0%		

## 2016年2Q 業績要因分析



### ポジティブ・ファクター

- 産業用ロボットは、国内・東アジア向けが堅調



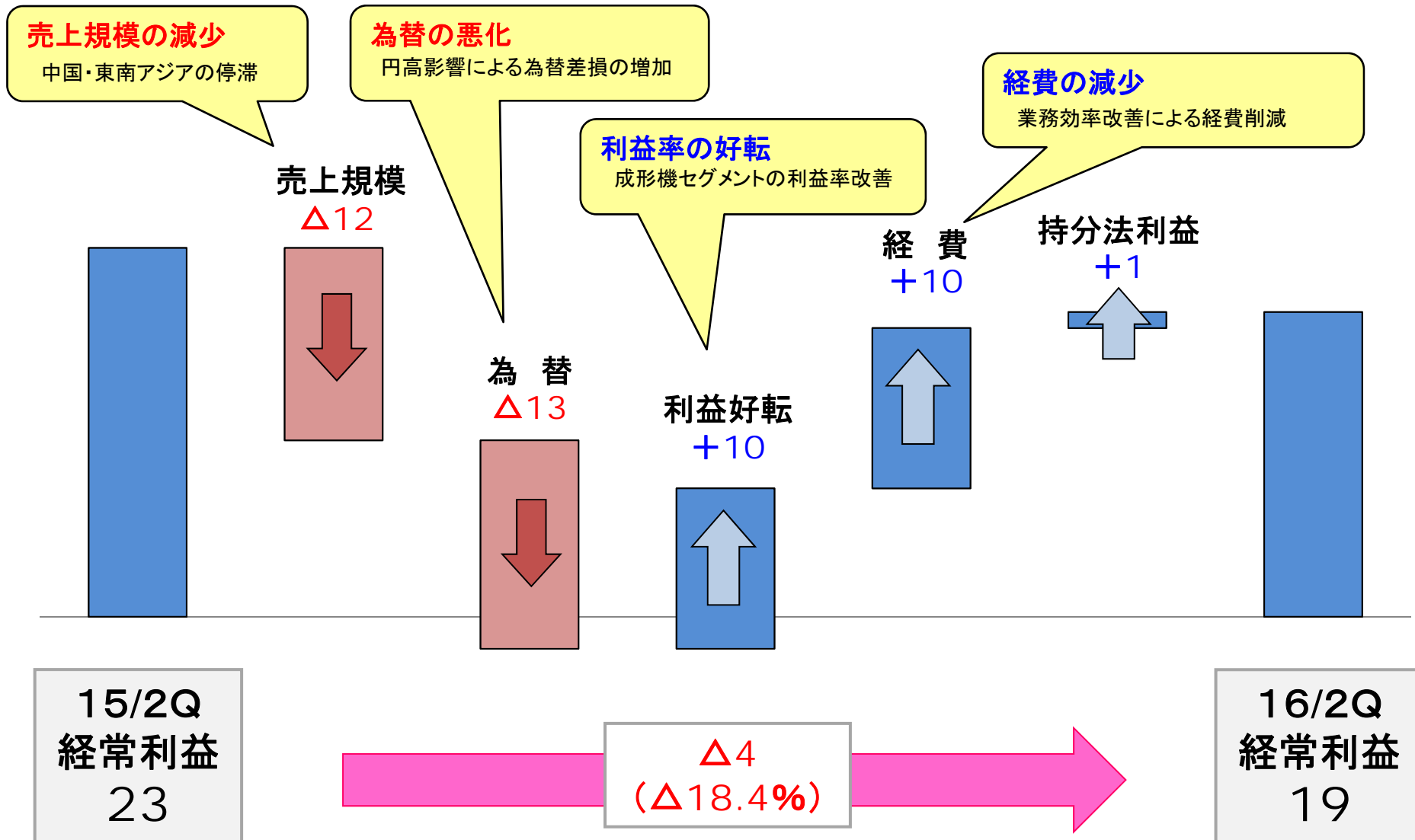
### ネガティブ・ファクター

- ロボットメーカー間での競争激化

# 経常利益分析

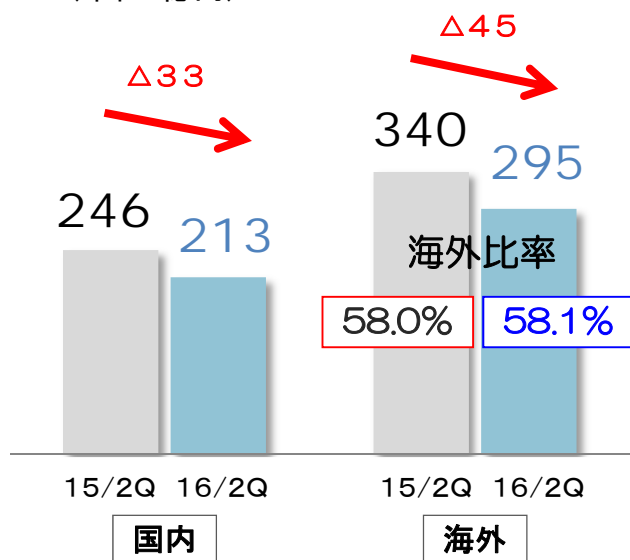
11

(単位: 億円)



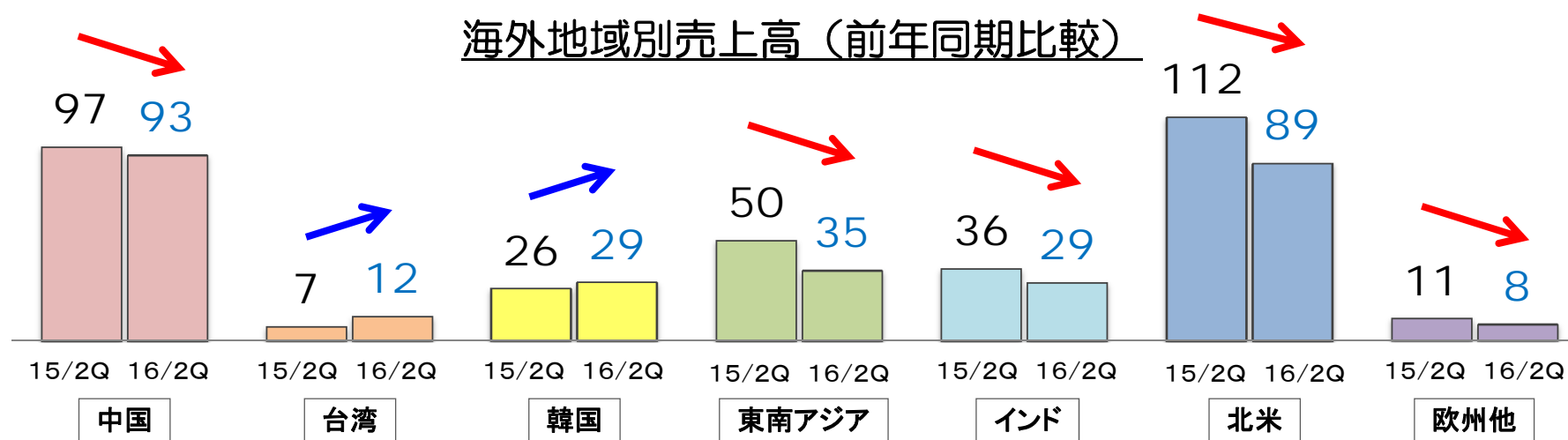
# 国内・海外売上高(前年同期比較)

(単位: 億円)

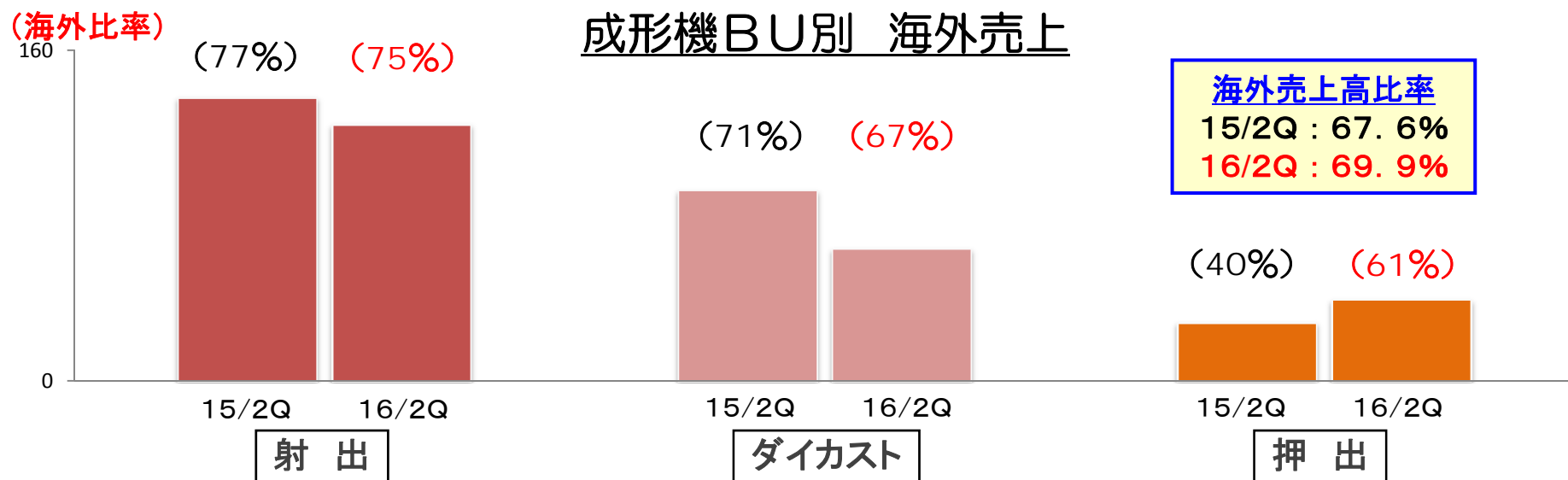
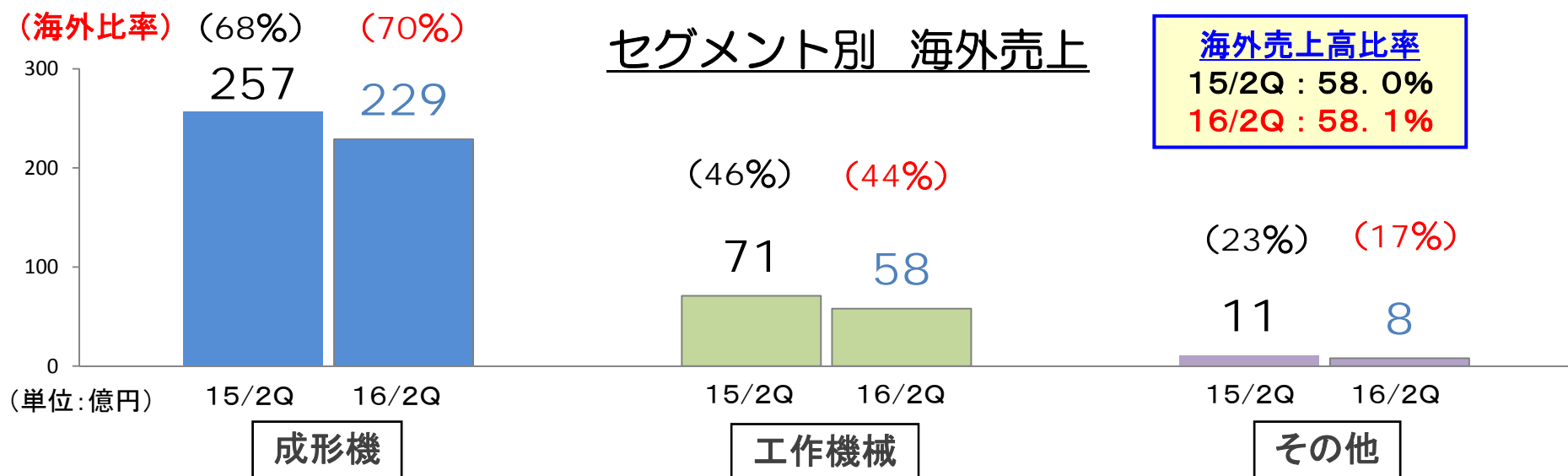


- 国内: **ダイカストマシン、押出成形機、工作機械減少**
- 中国: **射出成形機、ダイカストマシン減少**  
**押出成形機増加**
- 東南ア: **射出成形機、ダイカストマシン、工作機械減少**
- 北米: **ダイカストマシン、工作機械減少**  
**射出成形機増加**

## 海外地域別売上高(前年同期比較)



# 仕向地が海外の売上高 (セグメント別)



## 1. セグメントの総括

- 成形機セグメント** : 中国・東南アジアで売上・利益減少、  
中国・北米で受注増加
- 工作機械セグメント** : 東アジアは堅調、北米は低迷
- その他** : 国内で堅調

## 2. 当社で対処した施策

- ・総原価低減活動(前年同期比): 固定費 4億円、VE/CD 4億円

## 3. 結果

- 全社** : 減収減益
- 成形機セグメント** : 減収増益
- 工作機械セグメント** : 減収減益
- その他** : 減収減益

	16年2Q	15年2Q
売上高営業利益率	2.8%	2.5%
※ ROE (当期純利益/自己資本)	3.0%	6.9%
※ ROA (当期純利益/総資本)	1.8%	4.0%
損益分岐点比率	90.3%	89.1%

※ 期首・期末の平均を使用

# 貸借対照表

15

(単位:億円)

	2016年 2Q末	2015年度末	増減
現金同等物	473	429	44
売上債権	355	434	△79
棚卸資産	275	295	△20
有形・無形固定資産	226	224	2
その他資産	200	201	△1
資産計	1,529	1,583	△54
買入債務	226	251	△25
借入金(短期・長期)	153	169	△16
その他負債	238	230	8
負債計	617	650	△33
株主資本	900	896	4
その他純資産	12	37	△25
純資産計	912	933	△21
負債・純資産計	1,529	1,583	△54

## 貸借対照表概要

- 資産(前期比 54億円減少)  
売上債権 79億円減少
- 負債(前期比 33億円減少)  
買入債務 25億円減少
- 純資産(前期比 21億円減少)  
その他の包括利益累計額 25億円減少

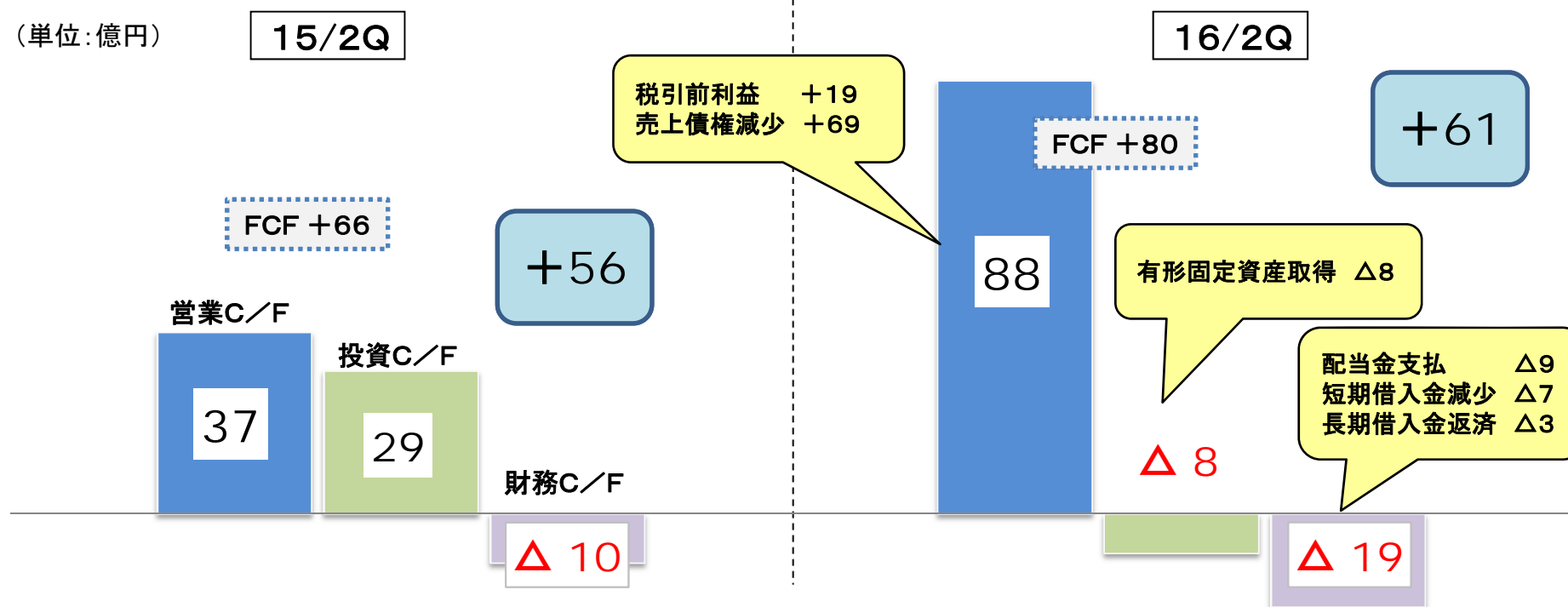
	16/9月末	16/3月末
自己資本比率	59.6%	59.0%
D/E比率	16.8%	18.1%
総資本回転率 ※	0.65 回転	0.73 回転

※ 期首・期末の平均を使用

# キャッシュ・フロー計算書

16

(単位: 億円)



	15年2Q	16年2Q
現金及び同等物 期首残高	402	429
営業活動によるC/F	37	88
投資活動によるC/F	29	Δ8
財務活動によるC/F	Δ10	Δ19
計	56	61
換算差額 他	2	Δ18
現金及び同等物 期末残高	460	473



平成29年(2017年)3月期

業績予想 (連結ベース)

配当予想

## 1. 当社を取り巻く外部環境

セグメント	ポジティブ・ファクター	ネガティブ・ファクター
<b>成形機セグメント</b> 射出成形機 ダイカストマシン 押出成形機	自動車・光学の伸長 自動車軽量化に対する需要増 電池関係大規模ラインの需要増	中国・東南アジアの停滞 東南アジアの停滞 海外の低採算案件の増加
<b>工作機械セグメント</b>	自動車・航空機の伸長	国内の助成金・優遇税制縮小 北米の資源、建機関連の停滞継続
<b>為替リスク</b>		円高傾向の継続

## 2. 当社概要

### (1) 当社施策

- 事業収益性向上 : 総原価の低減・収益確保、最適調達網の構築
- 経営体質強化 : 国内外工場の効率化、拠点の最適化
- ブランド力強化 : 市場ニーズにあった新商品の創出

### (2) 当社業績見込(前期比)

- 売上高 : 成形機セグメント・工作機械セグメントは減収、その他は横ばい
- 営業利益 : 伸長を見込む

# 2016年度 業績サマリー

(単位:億円)

	2016年度 予想	2015年度 実績	増 減	2016年度予想 (2016/4/28公表値)
売上高	1,100	1,173	$\Delta 73$	1,180
営業利益	42 (3.8%)	38 (3.2%)	4 (+0.6%)	46 (3.9%)
経常利益	50 (4.5%)	50 (4.2%)	0 (+0.3%)	51 (4.3%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	34 (3.1%)	48 (4.1%)	$\Delta 14$ ( $\Delta 1.0\%$ )	34 (2.9%)
受注高	1,183	1,200	$\Delta 17$	1,250
為替レート(USD)	100 円	120 円		108 円

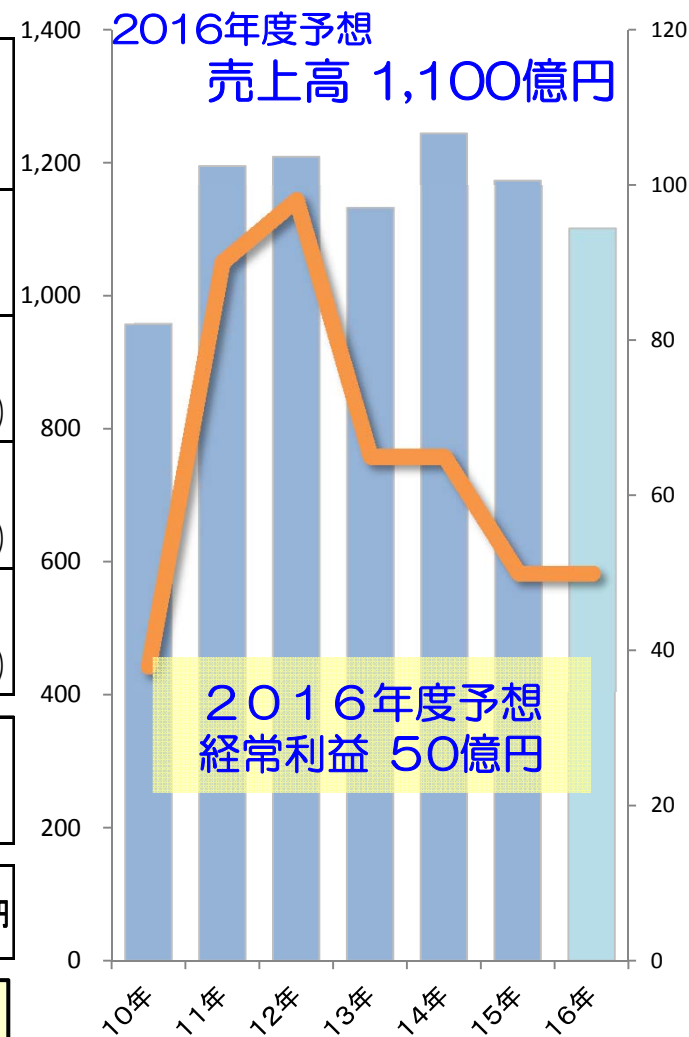
為替影響を除いた場合  
 $\Delta 11$

$\Delta 73$

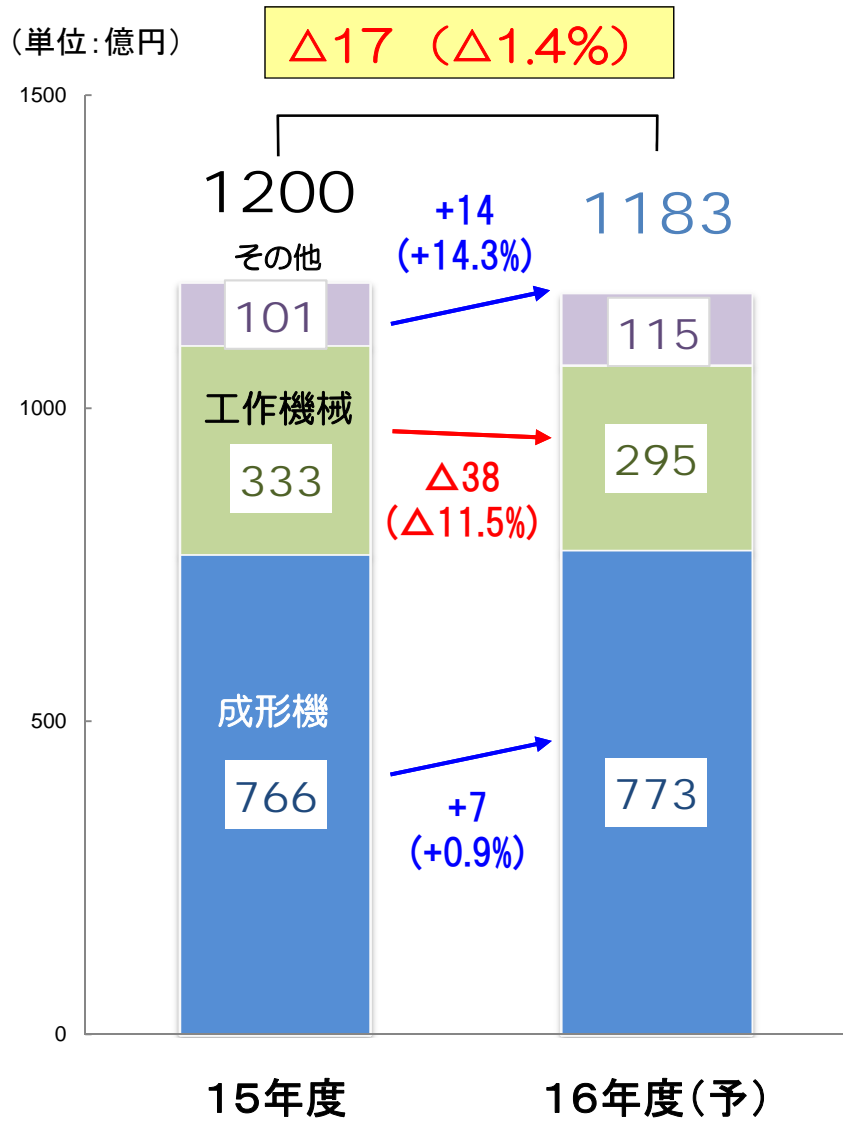
$\Delta 17$

為替影響を除いた場合  
+47

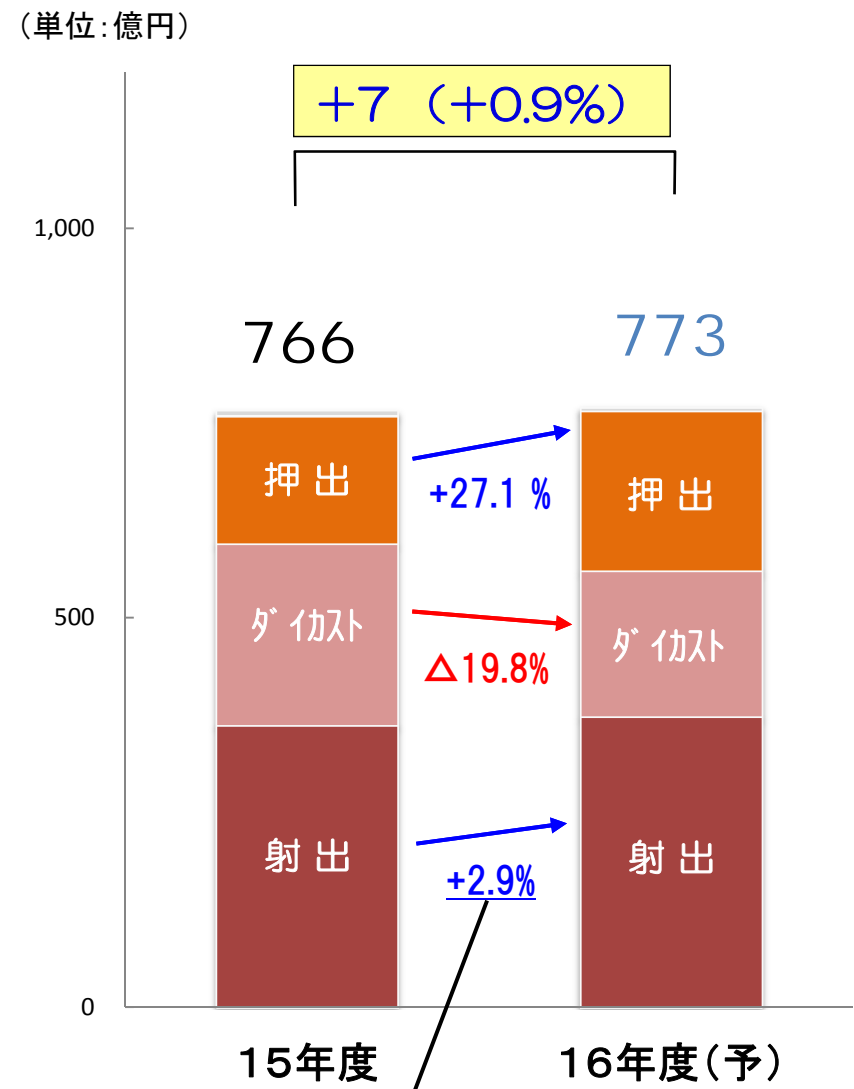
売上高 経常利益



# 受注高(セグメント)



# 受注高(成形機内訳)



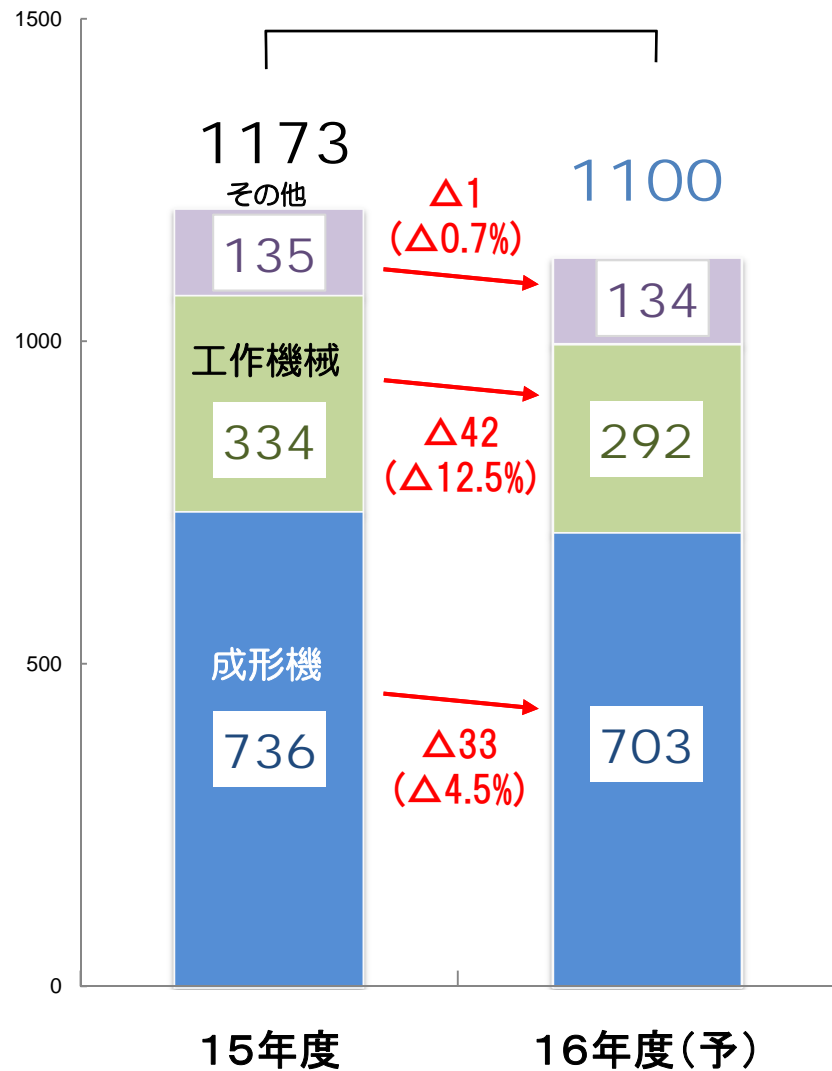
為替影響を除いた場合  
**+14.8%**

# 売上高(セグメント)

# 営業利益(セグメント)

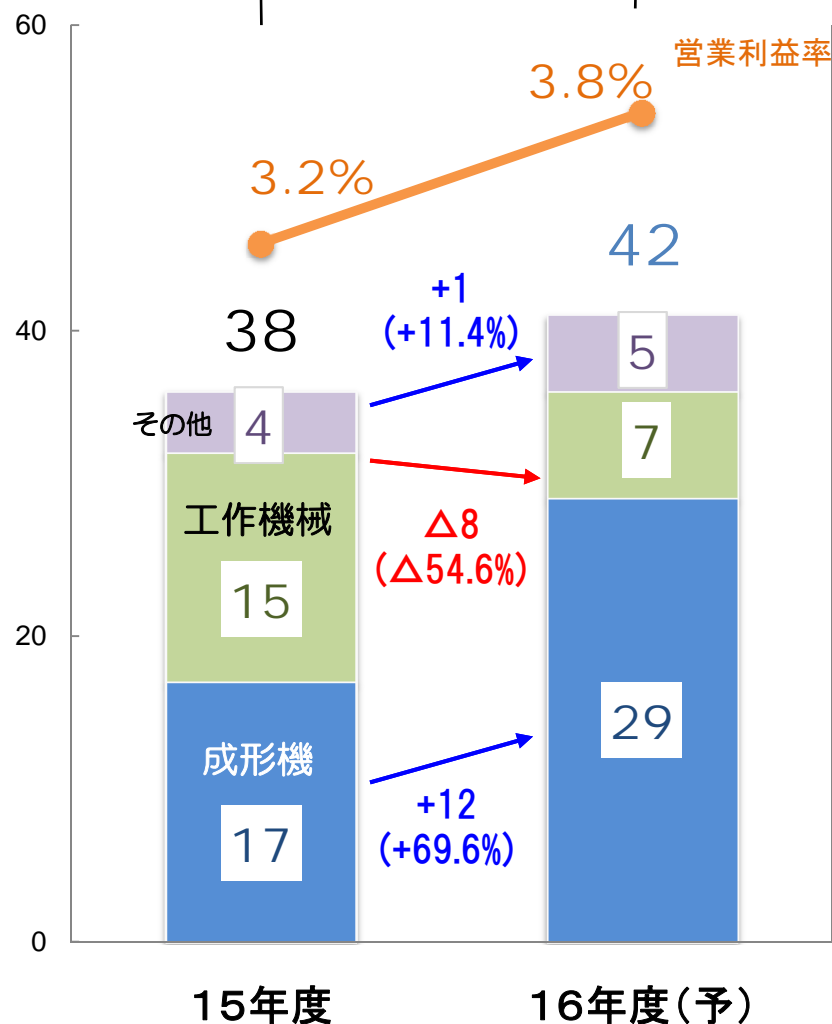
(単位:億円)

**△73 (△6.2%)**



(単位:億円)

**+4 (+10.3%)**



(単位:億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	2016年度 (H28年度)	2015年度 (H27年度)	増減額	増減率
売上高	703	736	△ 33	△ 4.5%
営業利益	29	17	12	69.6%
利益率	4.1%	2.3%		

## 2016年度 業績要因分析



### ポジティブ・ファクター

- 射出成形機の生産効率向上及び最適地調達によるコスト減少
- ダイカストマシンの北米、メキシコ向け需要増
- 押出成形機のリチウム電池大規模ライン需要増



### ネガティブ・ファクター

- 射出成形機、ダイカストマシンは中国、東南アジアの停滞
- 海外における低採算案件増加

(単位:億円)

(工作機械、精密加工機など)

	2016年度 (H28年度)	2015年度 (H27年度)	増減額	増減率
売上高	292	334	△ 42	△ 12.5%
営業利益	7	15	△ 8	△ 54.6%
利益率	2.4%	4.6%		

## 2016年度 業績要因分析



### ポジティブ・ファクター

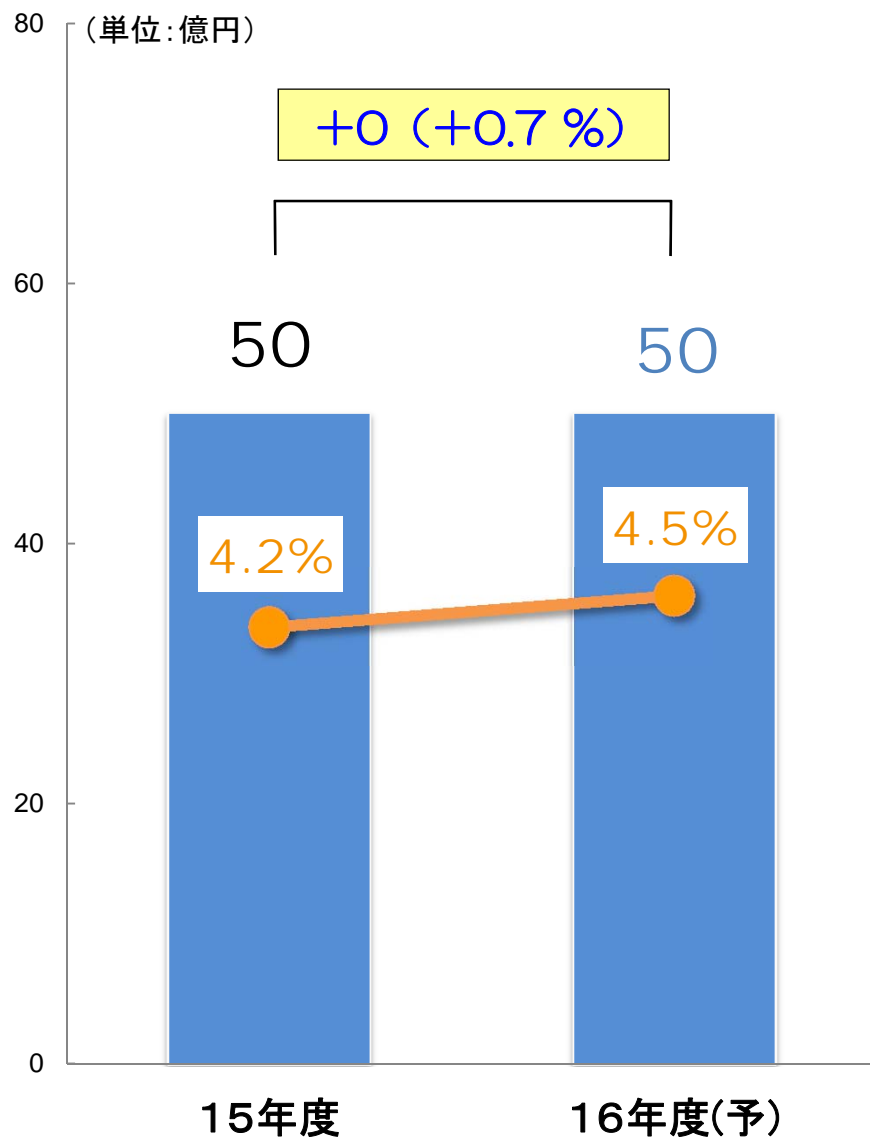
- 自動車金型・航空機関連の伸長
- 国内、中国のスマートフォン金型関連堅調



### ネガティブ・ファクター

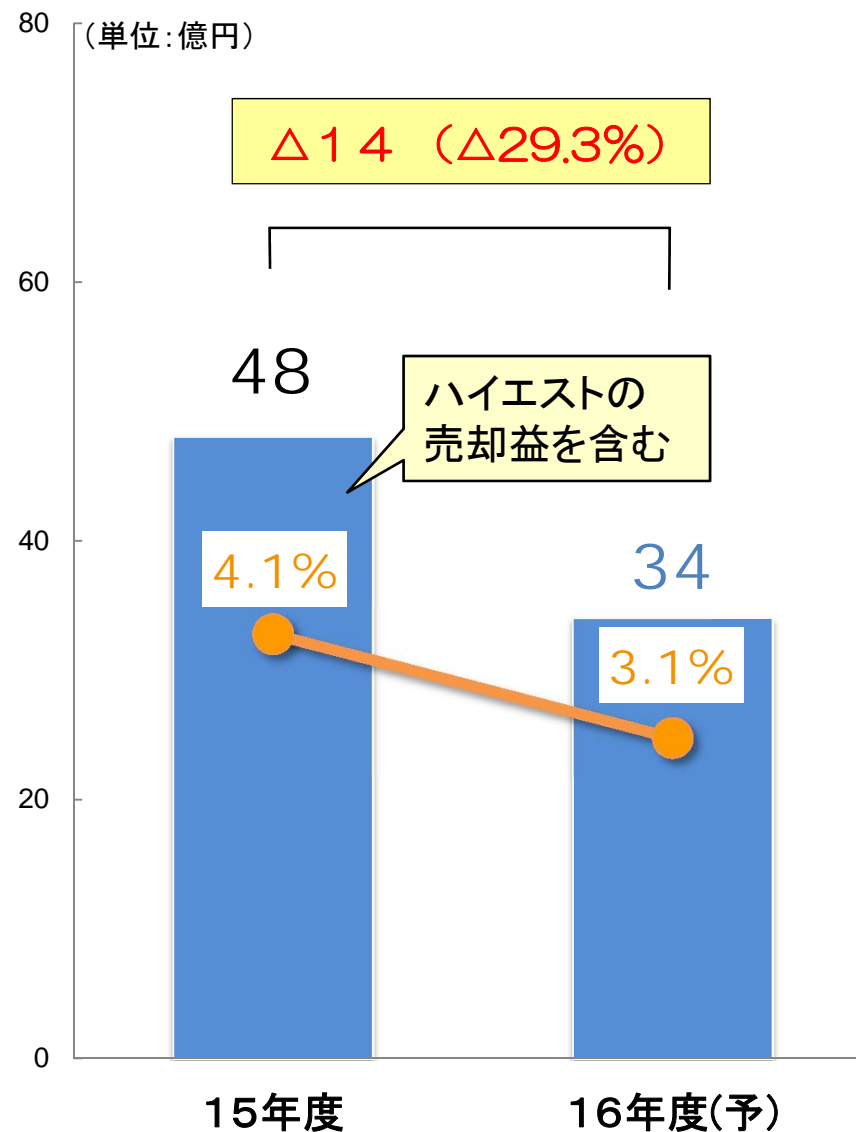
- 国内の助成金・優遇税制縮小
- 北米の資源関連の停滞継続
- 建機関連の停滞継続

# 経常利益



# 親会社株主に帰属する 当期純利益

24





## 配当金の決定に関する方針

当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。

利益剰余金につきましては、財務体質を強化しつつ、企業の継続的発展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆さまへの適正な利益還元を実施してまいります。

### (配当の状況)

	第2四半期末	期 末	年 間	配当性向 (連結)
2015年3月期	4 円 00 銭	4 円 00 銭	8 円 00 銭	28. 2%
2016年3月期	6 円 00 銭	6 円 00 銭	12 円 00 銭	38. 0%
2017年3月期 (予想)	6 円 00 銭	6 円 00 銭	12 円 00 銭	53. 7%

以 上

本資料に記載している将来の当社業績に関する見通しは、現時点での把握可能な情報に基づいて作成したものです。

実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、これらの業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

お問い合わせ先

東芝機械株式会社 総務部

TEL : 055-926-5141

FAX : 055-925-6501

URL : <http://www.toshiba-machine.co.jp>